

甲賀市有機農業実施計画

1. 市区町村
甲賀市
2. 計画対象期間
令和 5年度 ～ 令和 9年度
3. 対象市区町村における有機農業の現状と5年後に目指す目標
<p>ア 有機農業の現状</p> <p>甲賀市は、滋賀県南東部に位置し、その東南部は、標高1,000mを超える山々が連なる鈴鹿山脈により、西南部は信楽盆地とこれらに続く丘陵性山地により各々三重県、京都府に接している。特に、鈴鹿山系を望む丘陵地で、野洲川・杣川・大戸川沿いに平地が開け、また森林も多く琵琶湖の水源涵養、水質保全にも重要な地域となっている。</p> <p>甲賀市の平均気温は、平野部では14℃と温暖であるが、東部および西部山岳地帯では12～13℃と低い。年間降雨量は1,500～1,600mm。積雪量も特異な年を除いては、平野部で最高20cm前後であり、積雪日数・積雪量ともに少ない地域となっているが、東部の山間部では30cm以上積雪がある。降霜は11月から4月まで見られるが、4月から5月にかけて山岳地帯に晩霜があり、しばしば農作物に被害をもたらすことがある。風向は年間を通じて北西風が多く、秋から冬にかけて空気が乾燥し風は強くなるが、春から夏にかけては暖かい東南風が多くなる。</p> <p>本計画により有機栽培での生産拡大を目指す「茶」について、甲賀市には、土山と朝宮という特徴的な2つの産地がある。有機栽培の現状として、土山地域では、平成28年度より5戸の農家と茶商が結びついたコンソーシアムが設立し、以後は令和3年度に面積が微増したが、農家数は平成29年度以降横ばいとなっている。朝宮地域では、面積は毎年増加傾向にあるが、農家数については令和元年度以降横ばいとなっている。どちらの地域についても、面積の拡大はもちろん、農家が新たに有機栽培に取り組むきっかけとなる支援が課題となっている。</p> <p>また、有機栽培による茶の生産については、市内においても広く認知されているとは言い難く、オーガニック茶の生産を一層拡大し、持続可能な生産方法による茶の産地として甲賀市が知られることにより、長期的には、これまで以上に茶の産地としての知名度が高まることを、同時に目的としている。</p> <p>イ 5年後に目指す目標</p> <p>○オーガニック茶生産面積 令和3年 9.6ha→令和9年度 11.6ha ○オーガニック茶生産者 令和3年 14人→令和9年度 18人以上(令和3年度茶販売農家170戸中)</p>
3. 取組内容
<p>ア 有機農業の生産段階の推進の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実証ほ場の確保 ・オーガニック茶に適した品種の検証(茶業指導所と連携) <p>イ 有機農業で生産された農産物の流通、加工、消費等の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・甲賀市産オーガニック茶の品質・成分分析 ・オーガニック茶需要等の市場調査・結果分析(令和4年度に実施) <ul style="list-style-type: none"> *オーガニック茶の消費拡大に資するため、オーガニック茶の訴求点等消費者ニーズを明らかにする。 ・市内小学校へ甲賀市産オーガニック茶をリーフ茶として提供 <ul style="list-style-type: none"> *甲賀市産オーガニック茶の認知度向上